**神奈川県民生委員児童委員協議会　会長メッセージ**

**民生委員・児童委員の皆様へ**

**～これまでのつながりを絶やさないために～**

新型コロナウイルス感染症拡大により、

2度目の緊急事態宣言が延長される事態となりました。

自由に外へ出ること、人を訪ねて行くこと、遠方にいる家族と会うこと、たくさんの人と集うこと、

これらが制限されることは本当に堪えますね。

こうした制限下でも、各地区で工夫を凝らして活動されていること、感謝申し上げます。

委員も地域住民の一人として、

まずは、自身と家族の健康と暮らしを、どうか最優先にしてください。

活動の制限が長期化する中で、

どう活動していいのか、悩んでいる方もいらっしゃるかもしれません。

令和元年の一斉改選で初めて委員になった人はすぐにコロナ禍となってしまい、

不安も特に大きいのではないでしょうか。

しかし、この未曽有の事態では、不安や悩みを持つことは当たり前です。

不安や悩みは、ぜひ仲間同士で共有しましょう。

地域住民も同様に、制限下での生活に疲れ、不安を抱えている方もいるかもしれません。

電話や手紙、SNSをフル活用して、寄り添っていきましょう。

また、地域福祉を担うのは、我々委員だけではありません。

一人で抱え込まず、仲間や関係団体とともに、

コロナ禍での「つながりの持ち方」について知恵を出し合い、

決して無理をせず、出来ることを出来る範囲で活動して（模索を続けて）まいりましょう。

「和顔愛語」「凡事徹底」

2021年2月22日

神奈川県民生委員児童委員協議会　会長　桐生行雄